

歯学概論

[講義] 第2学年～第3学年 通年 選択 2単位

《担当者名》三国 久美(学長) 齋藤 隆史(歯学部) t-saito@ 伊藤 修一(歯学部) shu@
長澤 敏行(歯学部) nagasawa@ 會田 英紀(歯学部) aita@ 倉重 圭史(歯学部) kura@
飯嶋 雅弘(歯学部) iijima@
志茂 剛(歯学部) shimotsu@ 永易 裕樹(歯学部) nagayasu@ 川島 雄介(歯学部) kawashima-y@
飯田 貴俊(歯学部) tiida@ 高橋 伸彦(歯学部) ntkhs@ 三浦 宏子(歯学部) hmiura@
佐藤 結香(非常勤講師)

【概要】

歯学部では歯科医学に精通し医療提供者として社会に貢献できる歯科医師を育成するために、全学教育科目、専門基礎科目および臨床系科目の講義と実習が学年の進行に合わせて複合的に行われる。歯学概論では、専門基礎系科目および臨床系科目の教授内容に関する概説を聴講し、6年間で学ぶべき内容と目指すべき歯科医師像について理解を深める。

【学修目標】

- 1 三国 歯科医学と歯科医療の違いを理解するとともにどのように発展してきたかを学ぶ。
- 2 超高齢社会において歯科医療の果たすべき役割の概要を理解する。
- 3 齋藤 う蝕をはじめとする歯の硬組織疾患とその予防・治療法の概要を理解する。
- 4 長澤 歯周病の原因と治療について概要を学ぶとともに、歯周病の診断・治療に解剖学、微生物学、生化学などの基礎医学や内科学などの隣接医学が必須であることを理解する。
- (5) 噛むことと健康のつながりを理解するとともに、災害時における歯科医療の役割を理解する。
- 6 會田 老年医学について理解するとともに、超高齢社会における歯科医師の役割を理解する。
- 7 倉重 1. 生涯健康な歯・口を維持するために小児期からの口腔管理を理解する。
2. 障害児(者)の現状と、口腔管理について理解する。
- 8 飯嶋 正常咬合の定義と不正咬合の種類を理解するとともに、不正咬合が口腔及び全身の健康に及ぼす影響を理解する。
- 9 志茂 永易 口腔・顎顔面領域の構造・機能を理解し、疾患・病因及び診断・治療を理解する。口腔外科において診断・治療の対象となる疾患の概要と各疾患における治療目標について理解する。
- 10 どのような患者さん、どのような治療や病態が歯科麻酔による管理を必要としているのかを理解する。
- 11 川島 歯科医療における電離放射線が利用されていること、医科を含む医療全般における多職種連携をとるために画像診断の概要を学習する必要性があること、および国民に対する電離放射線障害の軽減方策が必要であることを理解する
- 12 飯田 摂食嚥下障害(食べる機能の障害)の原因や病態を把握するとともに、その対応法を理解する。
- (13) 高橋 優れた歯科診療の実践のために、全身疾患への理解を深め、患者中心の視点で診療を行うことの重要性を理解する。
- 14 三浦 我が国の歯科保健データを把握するとともに、地域での主要な歯科保健対策の概要を理解する。
- 15 佐藤 開業歯科医師として社会に貢献している実績を紹介し、その意義について理解する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

三国久美(保健師) 齋藤隆史(歯科医師) 伊藤修一(歯科医師) 長澤敏行(歯科医師) 會田英紀(歯科医師)
倉重圭史(歯科医師) 飯嶋雅弘(歯科医師) 志茂 剛(歯科医師) 永易裕樹(歯科医師) 川島雄介(歯科医師)
飯田貴俊(歯科医師) 高橋伸彦(医師) 三浦宏子(歯科医師) 佐藤結香(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

医師、歯科医師としての実務経験を活かし、幅広い歯科医療の展開の基盤となる基礎歯科医学を学修し、目指すべき歯科医師像の構築に寄与する教育を行っている。